

働くことを軸とする安心社会の実現に向けて

連合大分に結集する一人ひとりの組合員の皆さん。この1年間の取り組み大変お疲れさまでした。「新たな発想」「かみ合ったタテとヨコ」「連合大分総がかり」の合言葉のもと、大分県下で働く仲間と家族の生活向上と安定をはじめ、すべての働く者の生活の向上と安定を求めて運動を進めることができました。

2019 春季生活闘争や政策制度実現の運動、組織強化・拡大の取り組み、選挙闘争と一定の成果を獲得することができました。組合員の皆さんのそれぞれの持ち場・立場から連合大分運動の前進にご支援・ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

道元禅師が師として仰がれた如浄禅師の「風鈴の偈」という教えがあります。

渾身似口虚空掛 (こんしん 口に似て こくうにかかれり)

不問東西南北風 (東西南北の風を問わず)

一等為他談般若 (一等に他がために般若を談ず)

滴丁東了滴丁東 (チチンツン リャン チチンツン)

解釈は、「何も妨げるものがない空間にかかっている風鈴は、全身そのものが口そのもので、東西南北の風の別を問うこともなく、すべての風を一様に平等に口全体で受け入れ、チリンチリンと真実を鳴らしつくす。」ということです。

組織労働者の一人として、組織の姿勢に置き換えてみます。風鈴は「私」「私たち」、個人であり組織と捉え、東西南北から吹く風は、ある時は「相手からの厳しく強い向かい風」であったり、ある時は「闘いを挑む追い風」であったり、時には「組合員からの声なき声」と捉えます。いかなる風が吹こうとも必ず元に戻り、いかなる風であろうともきれいなやさしい音色で受け止めます。そんな組織あるいはそんな組織人でありたいと思うところです。

私たちは、「汲んでも汲んでも尽きることのない泉のような温かい心」のある労働者として運動を進めていくとともに、「自分さえよければ」という価値観から「助け合い、支え合い、お互い様」という人間が持つ本質的な価値観を回復させていく取り組みを進め、「働く人々が手をつなぎ合って生きていく」ことのすばらしさの実現に向けて進んでいきたいと思えます。

皆様方の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げ、この1年間のお礼の言葉とします。よいお年をお迎え下さい。



2月 大分県知事要請（2019 春季生活闘争）



3月 春季生活闘争・統一地方選挙勝利決起集会



4月 メーカー大分県中央大会



5月 第1回PW・PY



6月 平和行動 in 沖縄



7月 第25回参議院議員選挙・マイク納式



10月 結成30周年記念レセプション



12月 台風19号災害救援カンパ活動